

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	義肢
大塚博・福田弘和 加藤博務		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	4	時間数	120
【概要・一般目標：G10】					
概要：					
カルテの記入方法，切断端の観察方法，切断端の評価方法，採寸採型技術，義足の組み立て技術，義足部品の種類や機能，ソケットの適合技術，アライメントの設定方法等の下腿義足を製作するための基礎的な知識や技術を体得する．実際に下腿切断者（モデル）の義足を製作する．					
G10：					
安全で適合した下腿義足を製作するための技術を，実習を通して体得する．					
【学習目標・行動目標：SB0】					
1. 本科目の全体的な概要と評価内容，評価方法を理解している．					
2. 下腿切断者とコミュニケーションを図り，義足の処方及び製作に必要な情報を聞き取ることができる．					
3. 義足の処方及び製作に必要な断端の情報，評価方法を実践し，カルテへの記入できる．					
4. 採寸および採型，陽性モデルの修正を行なうことができる．					
5. 下腿義足の部品の機能を理解し，適切に扱うことができる．					
6. 下腿義足を組み立て，ベンチアライメントの設定ができる．					
7. 下腿義足を適切に装着し，ソケットの評価とアライメントの評価が実践できる．					
8. 下腿義足の採寸採型から完成までの行程を理解し，下腿義足の価格構成について説明できる．					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション（全体の概要と評価方法）			1	説明
2	カルテ作成，切断者の評価，情報の記入			2, 3	実習
3	採寸・採型，陽性モデル作成			3, 4	実習
4	陽性モデル修正			4	実習
5	チェックソケットの成形とトリミング			6	実習
6	下腿義足部品（膝継手，足部等）の調整方法			5	実習
7	チェックソケットの埋め込みと基準線の設定			6	実習
8	義足の組み立てとアライメントの設定			5, 6	実習
9	ライナーを利用した下腿義足ソケットの製作			1～5	実習
10	ライナーを利用した下腿義足ソケットの適合評価			6～8	実習
11	教員仮合わせ：1回目（ソケットの評価方法と適合，アライメントの評価方法と調整 DEMO）			7, 8	実習
12	学生仮合わせ：1回目（〃）			7, 8	実習（評価）
13	教員仮合わせ：2回目（ソケットの評価方法と適合，アライメントの評価方法と調整 復習）			7, 8	実習
14	学生仮合わせ：2回目（〃）			7, 8	実習（評価）
15	まとめ				講義・実習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 （必ず購入する書籍）		義肢学 日本義肢装具学会監修	澤村誠志編、鋤園栄一ほか 監修	医歯薬出版	1988
		参考書	切断と義肢 澤村誠志	医歯薬出版	1999
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
適合評価50%，カルテ評価50%．		原則，授業の1／3までの欠席の者は，科目評価資格を失うものとする．遅刻2回で1回の欠席とする．最終評価から1回の欠席につき－5点，1回の遅刻で－3点とする．			